

本校の 情報教育について

司書教諭

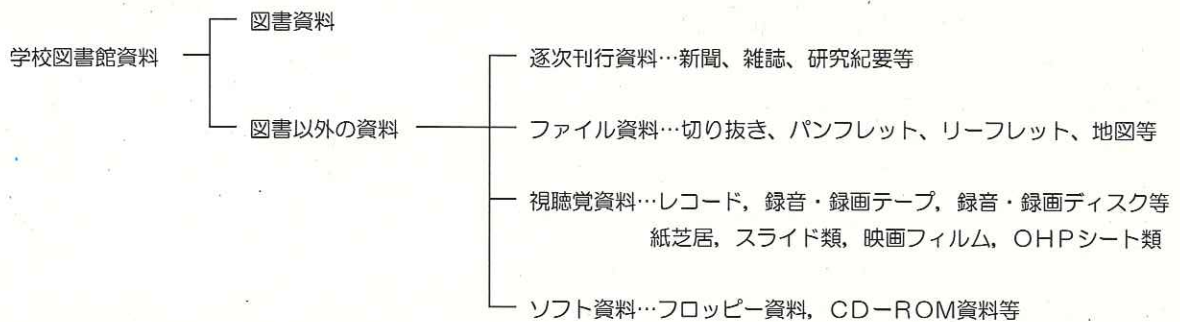
1. なぜ司書教諭が情報教育にかかわるのか？司書教諭とは何か？ (資料：「学校図書館法」)

→学校図書館の設置目的…「学校の教育課程の展開に寄与する」「生徒の健全な教養を育成する」

→司書教諭は、教科・学年・分掌を越えて、学校全体の図書館運営、図書館及びその資料・情報・メディアの活用とその教育に関わり、推進役となる。

- ◎「学校図書館法」の制定・・・1953（昭和28）年
- ◎高度成長期の教育と受験戦争・・・「附則」の「当分の間」が50年近くも！！
- ◎少子化と反省・・・「附則」の撤廃・・・1997（平成9）年
- 2003（平成15）年から12学級以上の学校には必置となった。

2. 学校図書館の資料とは・・・？ ……あらゆる情報メディアが対象となる。



3. 学校図書館に関わる「指導」とは？

- (1) 読書指導（「＝読書活動」ではない）
- (2) 情報・メディアを活用する学び方の指導（以下「学び方の指導」と略す。「利用指導」とも言う。
資料：「情報・メディアを活用する指導体系表」）→つまりこれは情報教育！
- (3) 教科等の指導のために資料を活用する学習（「学び方の指導」と融合していることが多い。）
→図書館活用学習・情報活用学習・調べ学習・広義の「読書活動」に関わる学習。

※「読書活動」とは・・・よく使われる言葉だが、狭義ではいわゆる読み物（文学や伝記といったような）を読むことを指す。しかし最近では広義でもよく使われるようになっており、この場合は、学校教育全般にわたるすべての「読む」活動を指す。すなわち、文字通り、いろいろな文章（図表なども含めて）で書かれた情報を読み、理解し、把握し、自らの目的達成のために行う全般的な活動を指す。この二者は場面に応じて使い分けられているが、錯綜している場合も多い。学校図書館としては、当然この後（広義）の方である。文科省や北海道、札幌市の子どもの読書活動に関する法律や計画等でも広義の方でとらえられている。

4. 体系的な情報教育の必要性

私たちの周りは情報の洪水であり、それは生徒たちの周囲でも同じ。大人でさえ何が信じるに足る情報なのかつかみにくい時代に、生徒たちがよりよい情報を選択し活用して自らの新しい情報を発信していけるだろうか。放っておいてはそういう力が育たないばかりか、多くの危険にさらされることにもなりかねない。そこで必要になってくるのは、さまざまなメディアが提供する言語や図表で表された情報を、どう読み解き、それを比較してよりよい選択をし、活用して自ら新しい情報を作り、発信していくかという力である。それは「読解力」であり、「情報リテラシー」であり、「言語力」・「コミュニケーション能力」と呼ばれるものにもつながる。そういう一連の力を育成していく指導が、今、生徒たちには必要なのである。

その力は、3. の (3) を繰り返す中で育成されてくるが、ただやみくもに繰り返すだけでは能率的ではない。(3) が能率的な形で成り立つためには、(2) の情報教育が必要であり、時には取り立て指導で、時には(3) との融合学習で育成されていく。だから、(2)・(3) の指導が学校教育できちんと体系的に指導される必要があり、それが「情報教育」の全体像なのである。

5. 学び方の指導(情報教育)はすべての教科・領域で、また図書館内・外で全校的に実施するものである。

(資料:「発寒中総合<情報>の変遷」、今年度本校の「図書館及びその資料の利用と指導に関わる計画」)

●図書館資料を使わせるときに・・・

- (1)「参考図書」(事典・辞典・年鑑・図鑑・地図・統計・白書等)の使い方を意識して指導しましょう。驚くほどわかっていない子もいる!
- (2)「目次」「索引」の使い方を特に意識させましょう。索引はあらかじめかけた項目を探すために大変役立ちます。テーマ設定に使うという裏ワザもあります。

●図書館資料を使って情報をまとめ、活用させるときに・・・

- (1)情報の獲得の仕方をきちんと指導しましょう。そして**いくつかの情報を付け合わせて比較検討し、そこから選び取る**力をつけさせましょう。
- (2)**丸写しはさせない**ようにしましょう。
引用の場合を除き、自分なりにまとめさせます。これは**情報を一度自分のものにさせるため**です。よく自分でも読めないような文章をそのまま書いている子がいますが、それは最悪のケース。ノートなり**情報カード**なりにいったんまとめさせてからレポートなどの発表物にまとめさせます。
※2・3年生は情報カードには慣れていません。
- (3)引用の場合は必ずその部分がわかるように書かせます。「」を付けたり一段下げて書かせる等。
- (4)必ず**参考資料は明記**させましょう。情報カードやノートにメモするときにも必ず、『書名・資料名』(出版社・発行所、発行年)は最低でも。著者名等もあるとさらによいでしょう。雑誌の場合は使ったものの年と月も書きます。新聞の場合は、加えて、使った情報の記載されている年月日や朝夕刊の区別も。インターネットの場合は『サイト名』、(出所)、URL、使った年月日を。ただし、言葉の意味を調べただけの辞書類については、普通は書きません。

●発表させるときに・・・

いろいろな発表法があります。生徒が持っている『国語便覧』に例が出ています(後ろの方のページ)。参考にさせるとよいでしょう。

6. 便利な「グッズ」を使いましょう。

(資料:情報カード書き方見本、「参考資料リスト」原版、「簡易レポート様式」原版)

- (1)情報カード、「情報カードの書き方」見本は図書館入り口右のケースの中に常備してあります「情報カードの書き方」は各机に1枚ずつあるように準備し、ソフトケースに入れてあります。
- (2)「参考資料リスト」(記入例付き)の用紙と「簡易レポート様式」の用紙(必要な点を指示してあるもの)も1クラス分は同じケースの中に入れてありますし、コンピュータ(「各書式」の中)に原版も入れてあるので、いつでもそのまま印刷して使えます。コピーして使いやすい形に変えることもできます。

7. ともかく今年度は!

●1年生には…①いろいろな参考資料があることを知り、使ってみること。

②丸写しでなく自分でわかってからカードにまとめ、何とかレポートにまとめること。

③参考資料をきちんとした形で書くこと。

●2年生には…1年生のレベルにプラスして…

①目次・索引を意識して参考資料を使えること。

②いくつかの情報を比較・選択して使えること。

③さまざまな形でのレポート発表ができること。

●3年生には…1・2年からの総合的な力

・・・を旨したいと思います。



この指導は一度指導したからといってすっかり身につくものではありません。意識して繰り返しご指導ください。とにかく、ことあるごとに繰り返し意識させ、思い出させるように指導することが必要です。**全教科・全領域**で取り組み、生徒たちを育てていきましょう。

2012 (平成24) 年度

発寒中学校図書館及びその資料の利用と指導に関わる計画

文化部図書係 (司書教諭)

月	国語科	社会科	数学	理科	音楽	美術	保健体育科	技術・家庭科	英語	総合	その他
4月	1年 MY FAVORITES (11・12 ・14・34・36) 全・雑種の甜と溝 (20)・ 通年 1年辞典・事典の活用法(20) 1年インターネット活用 (5)			3年細胞分裂・ 遺伝DNA (24)				1年技 コピュ-タ基礎 (5, 24, 31) 2年家 地域の食文化 2年家 調べ (20, 25, 28, 32, 33, 34, 35, 38, 39, 40, 41)	3年 パート 雑誌 (27)	全・図書館リテラ-シヨリ (7, 11, 12, 14) 1年芸術の森 (札幌の彫刻) 2年白老登別方面 3年図書館・ニセコの観光 ・自然 (32, 33, 35, 38, 39, 41, 42, 47)	全・朝読書 (寄) 通年 全・図書館学活
5月	1年カーPAの要約法 (28) 2・3年文章の要約法 (27・28)								3年 書籍 (20)		全・子どもの読書週 間での利用
6月	2・3年短歌俳句指導 (寄) (28・41)			2年動物調べ (寄) ・20)					2年 書籍 (20)		全・学校祭での利用
7月	全・読書指導 (寄) 全・感想文の書き方								1年 書籍 (20)		1~3年通年 カワ-カワ- ル・トワ-ワの読書教室(寄) 全・夏休みの長期貸出
8月	全・読書感想文	1・2年歴史課題 (32, 33, 35, 38~41 寄)		2年天気図調べ (21・24)							
休							2年環境 (同上)				
9月	※全学年単元に沿っ た読書指導は随時 行う。										
10月	全・情報の比較 (21) 1年カーPAの要約法(28) 3年古劇調へ学習 (寄) (20・41・46・53・54)							1年技 材料調べ (20, 25, 28, 32, 33, 34, 35, 38, 39, 40, 41) 3年技 調べ (43, 50)		2年キャリア (32, 33, 35, 38, 39, 40, 41, 42, 45~47, 53, 54)	
11月	2・3年 文章の要約法 (27・28) 1年読書感想文スピーチ							1年家朝食に向くメニュー (24)		1年情報のまじ め方 (情報)	全・校内読書週間 図書館学活
12月	3年主張スピーチ (25・3 3・39・40・46・53・54) 1・2年読書指導										
休											
1月	2年読書感想文スピーチ	1~2年地理課題 (32, 33, 35, 38~41)									
2月				全 「数 字の 活 用」 2年天気図 (2 1・25・29) 新聞活用				2年家幼児を取り巻 く環境(21)			
3月	1年 図書館雑誌「J」(レポートの作成法) (20-25, 28, 32-35, 38-41, 44, 51-54)										

(寄) は寄託図書の利用を示す。() 内の番号は裏の「情報・メディアを活用する学び方の指導項目」の番号を示している。